



2023年3月期第3四半期 決算説明会

2023年2月22日

株式会社ウィルグループ (東証プライム市場 6089)

目次

I. 当社連結子会社における過年度の決算訂正について

II. 2023年3月期第3四半期 実績

III. 2023年3月期通期業績予想、配当予想

IV. 2024年3月期からの新経営体制

I. 当社連結子会社における過年度の 決算訂正について

当社連結子会社における過年度の決算訂正について

2023年1月20日公表の「当社連結子会社フォースタートアップス株式会社における過年度の決算訂正に対する当社対応のお知らせ」に記載の通り、フォースタートアップス株式会社において、他社が運営する人材データベースについて、誤った認識で利用を行っていたことから、過年度からの手数料の支払い漏れ（売上原価の計上漏れ）が判明しました。

株主・投資家の皆様をはじめ取引先及び関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

本件による連結業績への影響は、金額的及び質的重要性の観点から軽微な範囲であると判断し、当社においては過年度の決算の訂正は行わず、支払い漏れの手数料及び違約金（約4億円）を、2023年3月期第3四半期で販売費及び一般管理費に計上しています。

本件を重く受け止め、フォースタートアップス株式会社において再発防止策を決定し、今後再発防止策の十分性や実効性について引き続き検証を行ってまいります。当社としても、再発防止策の実行状況について、定期的にモニタリングしてまいります。

再発防止策を着実に実行し、株主・投資家の皆様をはじめ、市場関係者及び取引先の皆様からの信頼回復に努める所存ですので、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年1月20日公表 [「当社連結子会社フォースタートアップス株式会社における過年度の決算訂正に対する当社対応のお知らせ」](#)

当社連結子会社における過年度の決算訂正について

■再発防止策

- (1) リスク評価会の定期的な開催
- (2) 各運営会社の利用ルールの周知徹底を図るための教育体制の再整備
- (3) 各運営会社とのコミュニケーションを行う専門チームの組成
- (4) 追加的な管理システム導入を含めた適切な管理体制の整備

■他の連結子会社における社内調査の結果

フォースタートアップス株式会社以外の国内連結子会社及び海外連結子会社（以下「その他の子会社」という。）においても、人材紹介ビジネスを行っているため、同様の事案が発生していないか、社内調査を実施しました。調査の結果、その他の子会社において、同様の事案は発生しておらず、業務プロセスにおいても対策が講じられていることを確認しました。

II .2023年3月期第3四半期 実績

1

売上収益、売上総利益は2桁成長であるものの、
連結子会社の過年度決算訂正影響により減益。

2

国内：オーダー獲得は回復傾向にあるも、ペースは緩やか。
海外：ポストコロナの急激な人材紹介需要が一巡。

3

2023年3月期通期連結業績予想を修正。

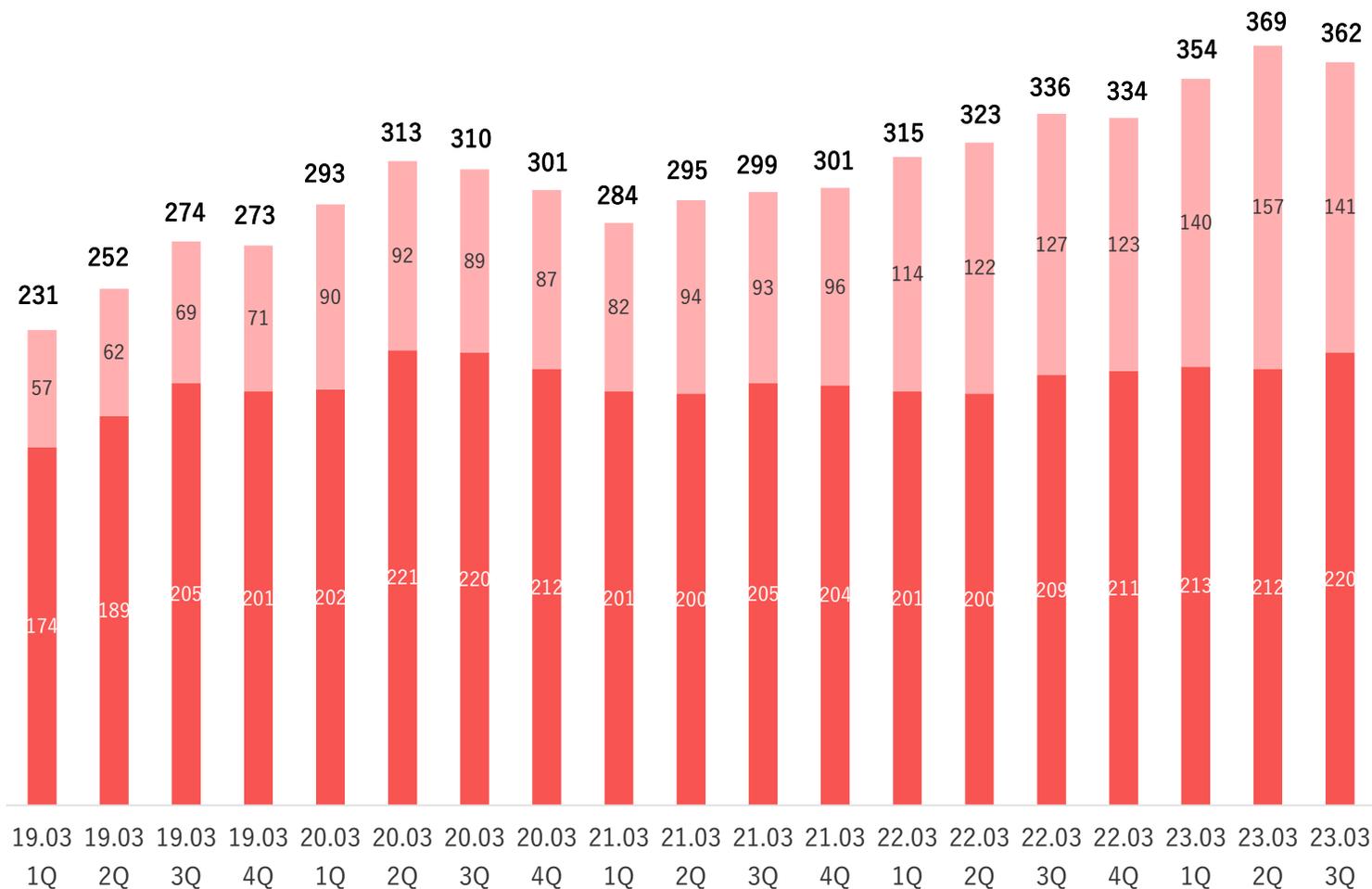
2023年3月期第3四半期 業績ハイライト

売上収益、売上総利益は2桁成長であるものの、
連結子会社の過年度決算訂正影響(販管費+4億円)により、減益。

	実績	前年同期比
売上収益	1,086.1億円	+11.3% (+110.0億円) うち為替影響+48億円
売上総利益率	22.2%	+0.4pt
営業利益	38.6億円	△7.3% (△3.0億円) うち為替影響+3.4億円

連結売上収益の四半期推移

(億円)



3Qは、
23.3期2Q比：△7億円

(うち為替影響：+0億円)

海外

国内は、23.3期2Q比で増加。
海外は、ポストコロナの急激な人材紹介需要が3Qで一巡。

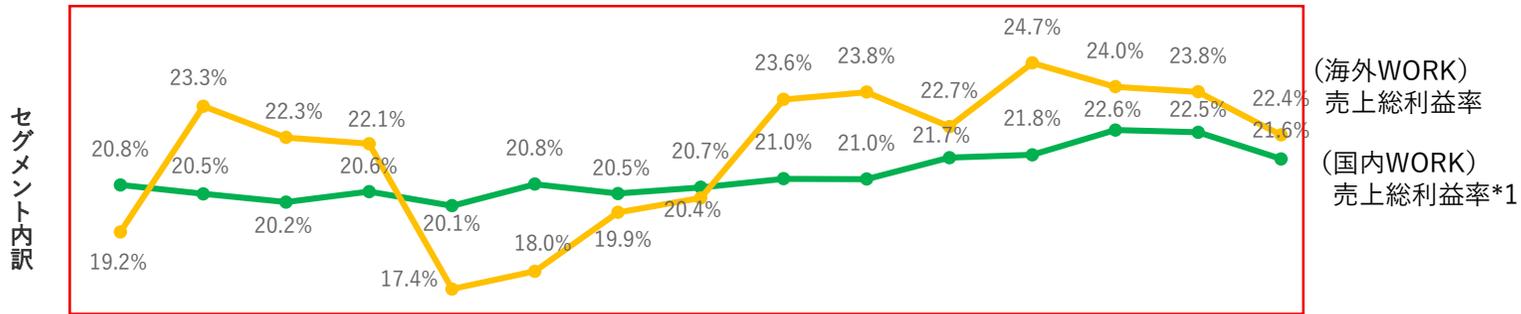
国内

※売上収益は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

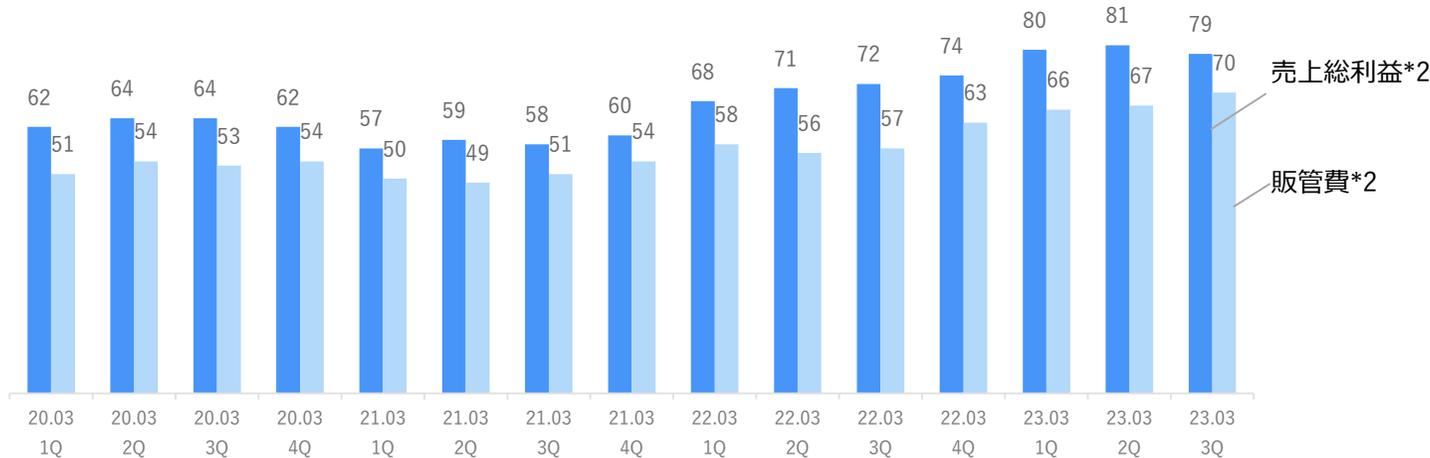
売上総利益率の四半期推移



海外WORK事業の人材紹介売上減少により、連結売上総利益率は低下。



戦略投資領域（建設、スタートアップ、介護）の先行投資は、
 3Q累計計画：10.4億円
 3Q累計実績：7.1億円（△3.3億円）
 未消化分は、繰越しなし。

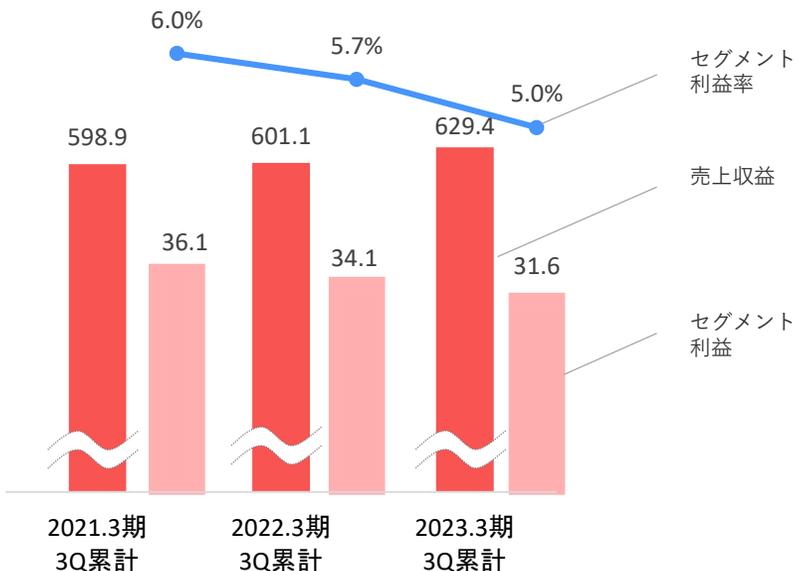


*1 セグメント内の連結調整は含んでいません。また、20.03期は従来の会計方針での数値です。

*2 売上総利益、販管費は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

国内WORK事業

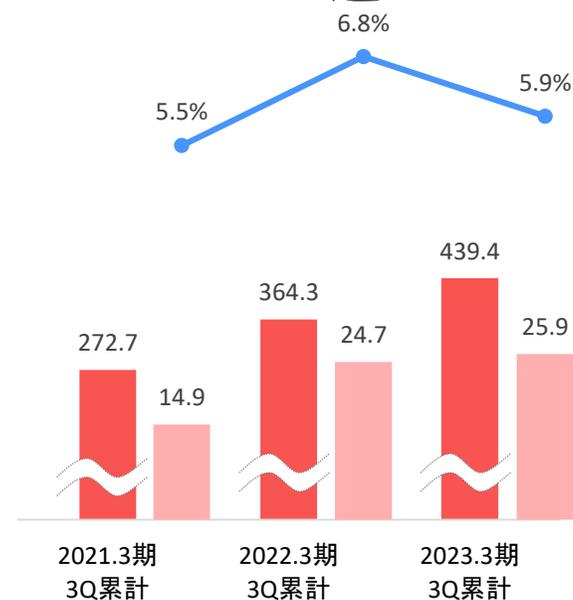
新規案件の開拓が進むも
想定より遅れ



- 連結子会社の過年度決算訂正影響（セグメント利益△4億円）。
- 3Qの稼働スタッフ数は、2Qと比較して横ばい。
- 建設技術者領域（4億円）、スタートアップ人材支援領域（2億円）の先行投資を実施。

海外WORK事業

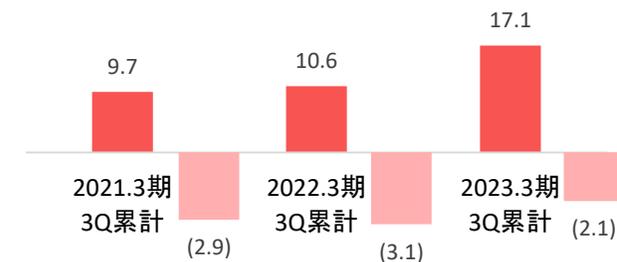
コロナ後の人材紹介需要が一巡



- コロナ後の急激な人材需要が、3Qで一巡。
- オーストラリアドル、シンガポールドルとも円安に推移。
為替影響は、売上収益：+48億円
営業利益：+3.4億円

その他

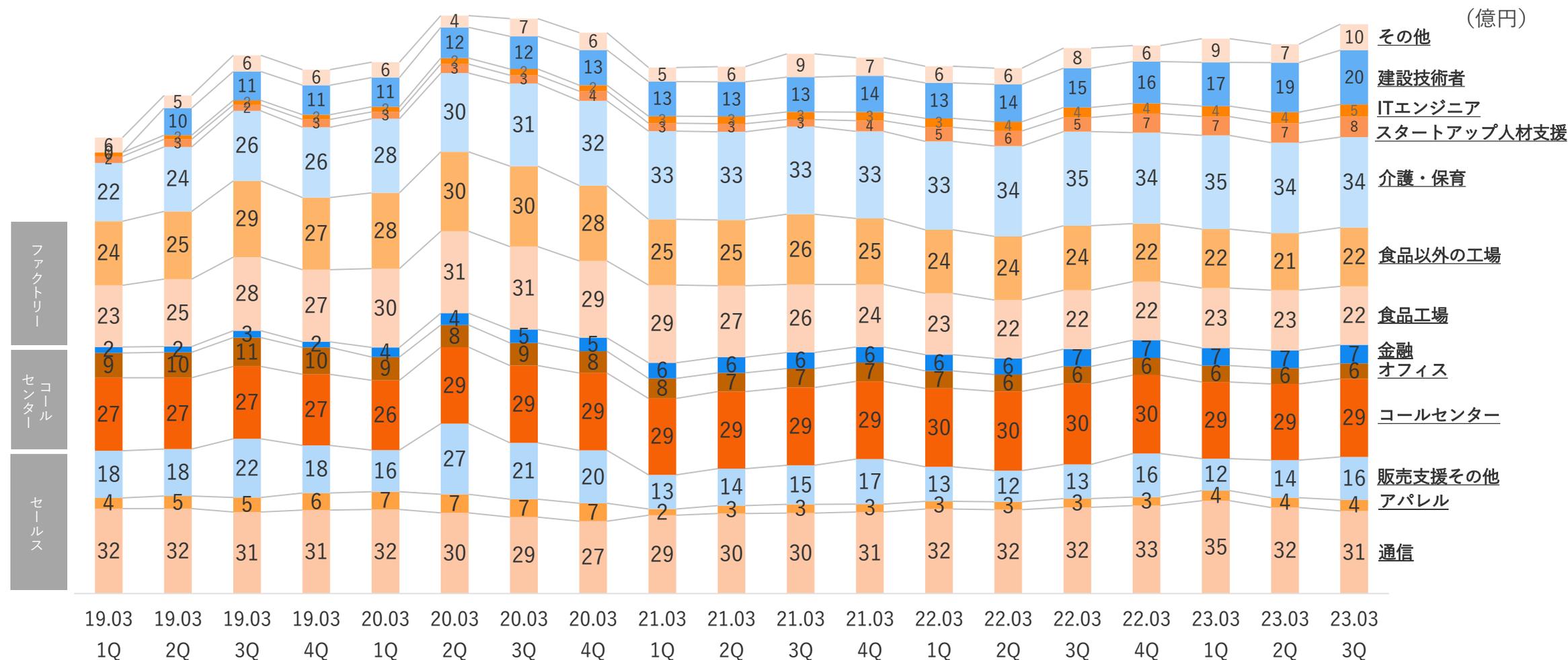
先行投資を継続



- 探索領域（インバウンドサービス）への先行投資を継続実施。外国人労働者の入国は限定的な状況が続いており、外国人労働者向けサービスを一部縮小したことから、販管費が減少。

国内WORK事業（分野別売上の内訳）

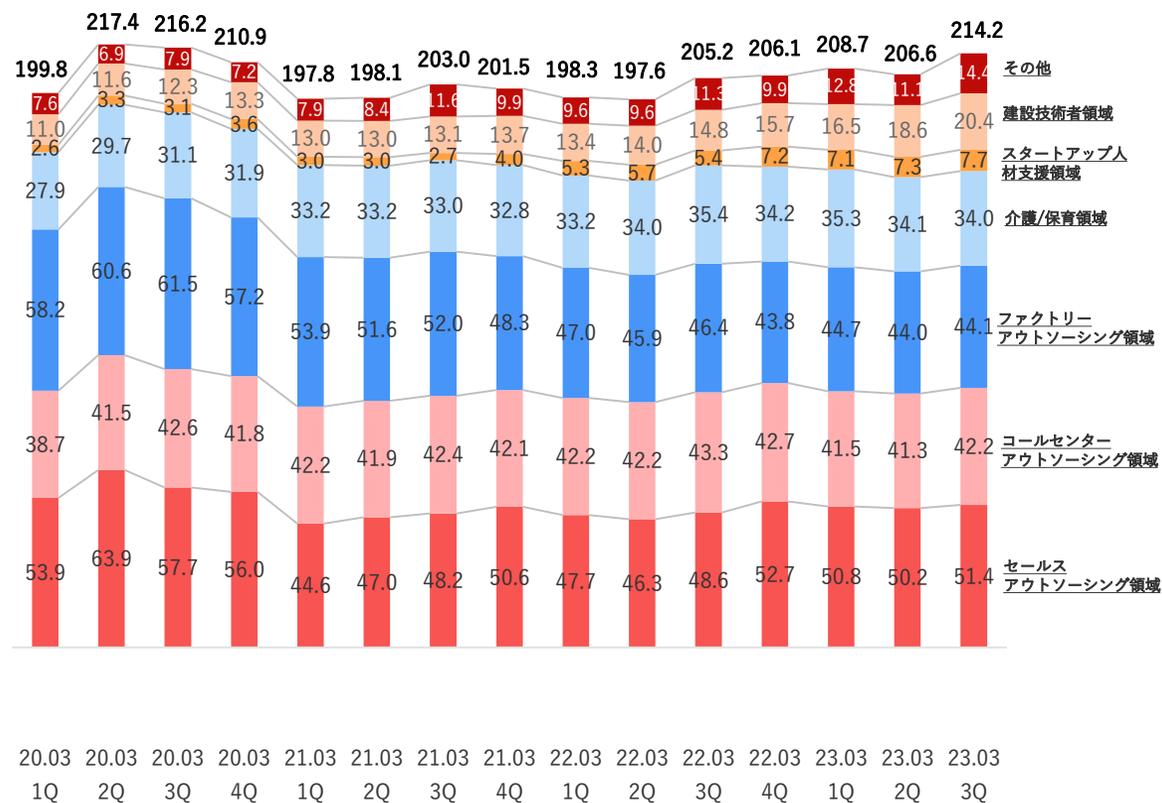
販売支援その他、スタートアップ人材支援、建設技術者領域が堅調に推移。



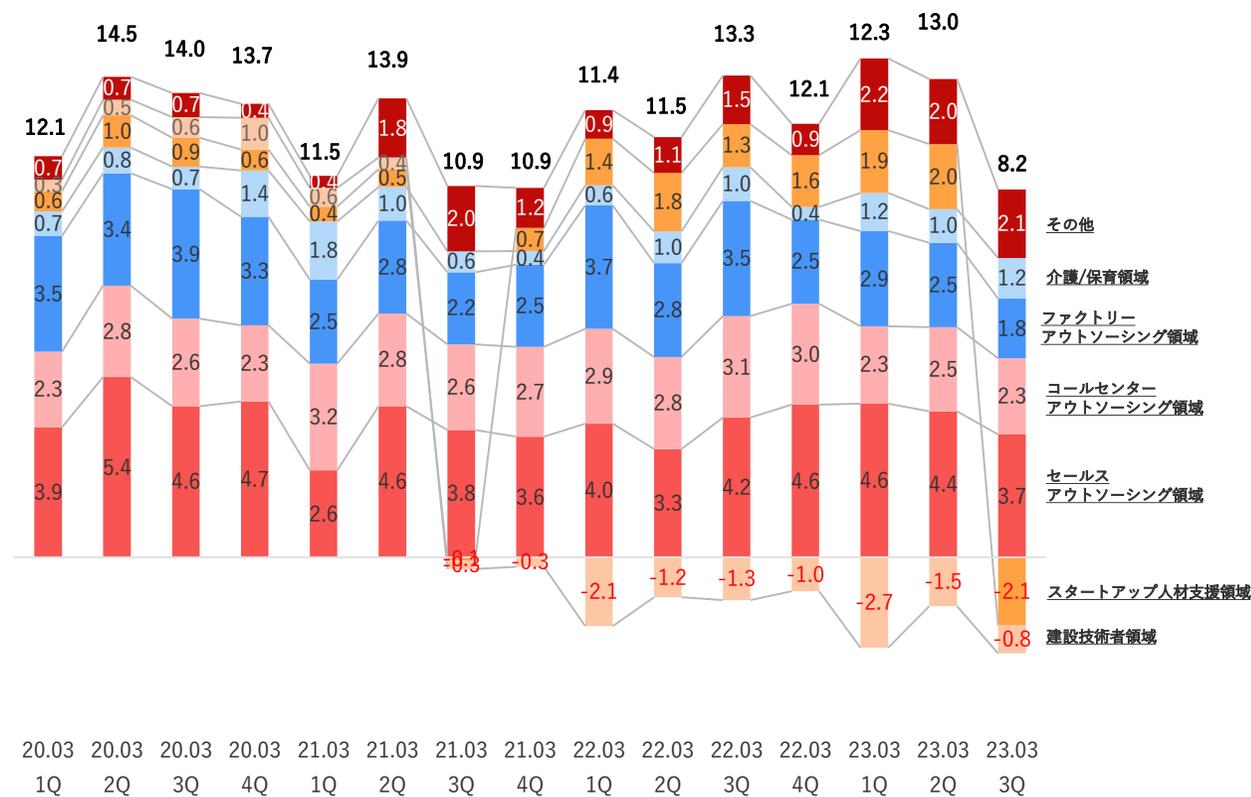
国内WORK事業（領域別売上高、営業利益）

建設技術者領域は、当年度は先行投資（人員増強、採用費投下）期間。
3Qのスタートアップ人材領域は、過年度決算訂正の影響で赤字。

-領域別売上高（億円）-



-領域別営業利益（億円）-

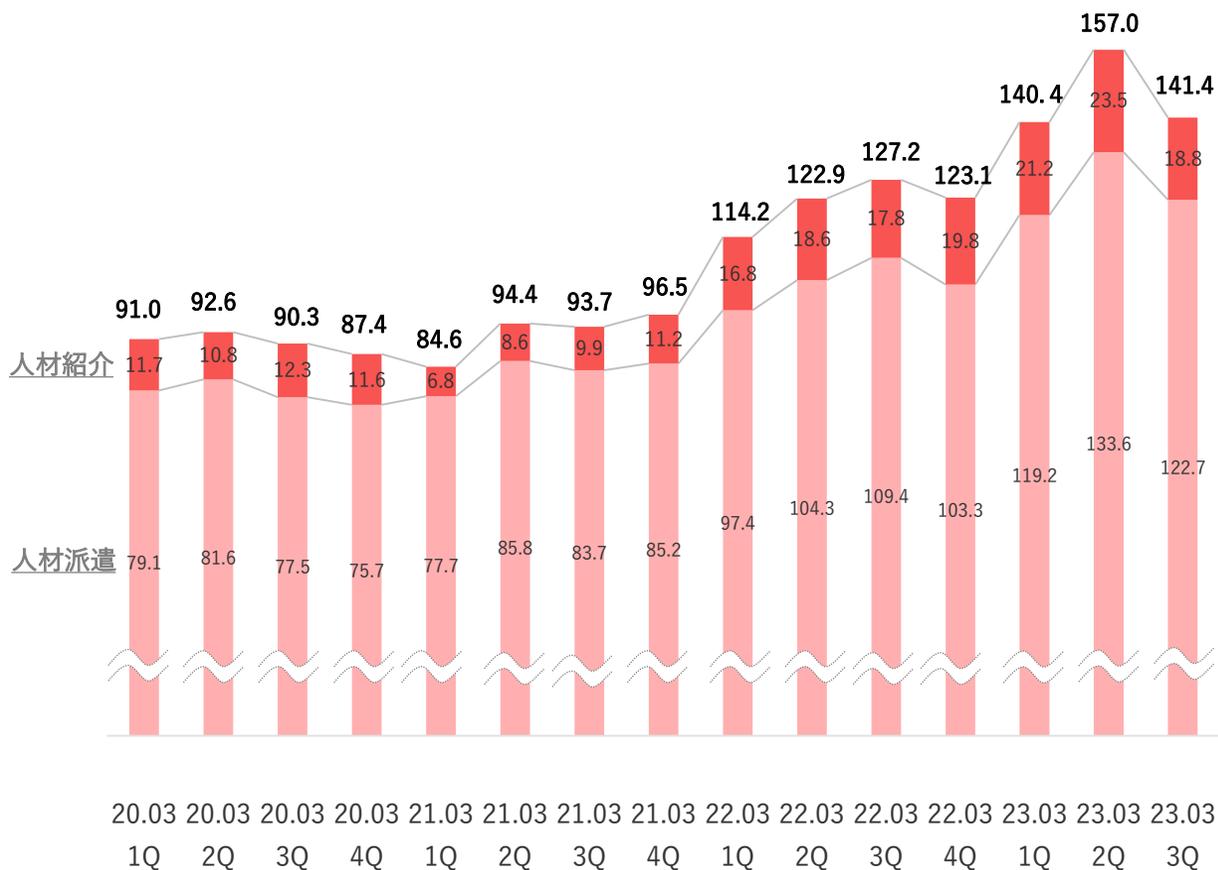


※セグメント内の連結調整は含んでいません。

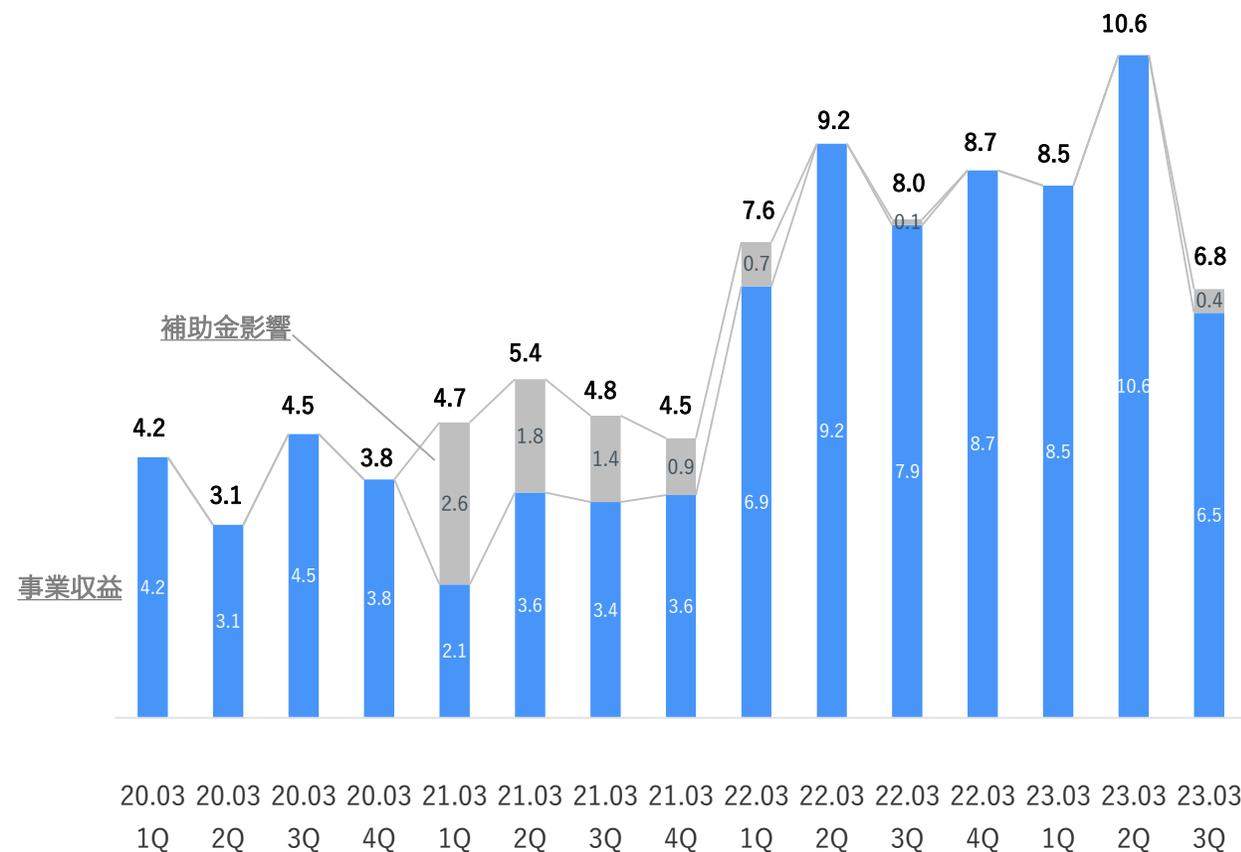
海外WORK事業（契約形態別売上高、営業利益推移）

2022年3月期1Q以降続いてきたコロナ後の急激な人材需要が、3Qで一巡。営業利益は、人材紹介売上が減少したことで、減少。

-契約形態別売上（億円）-



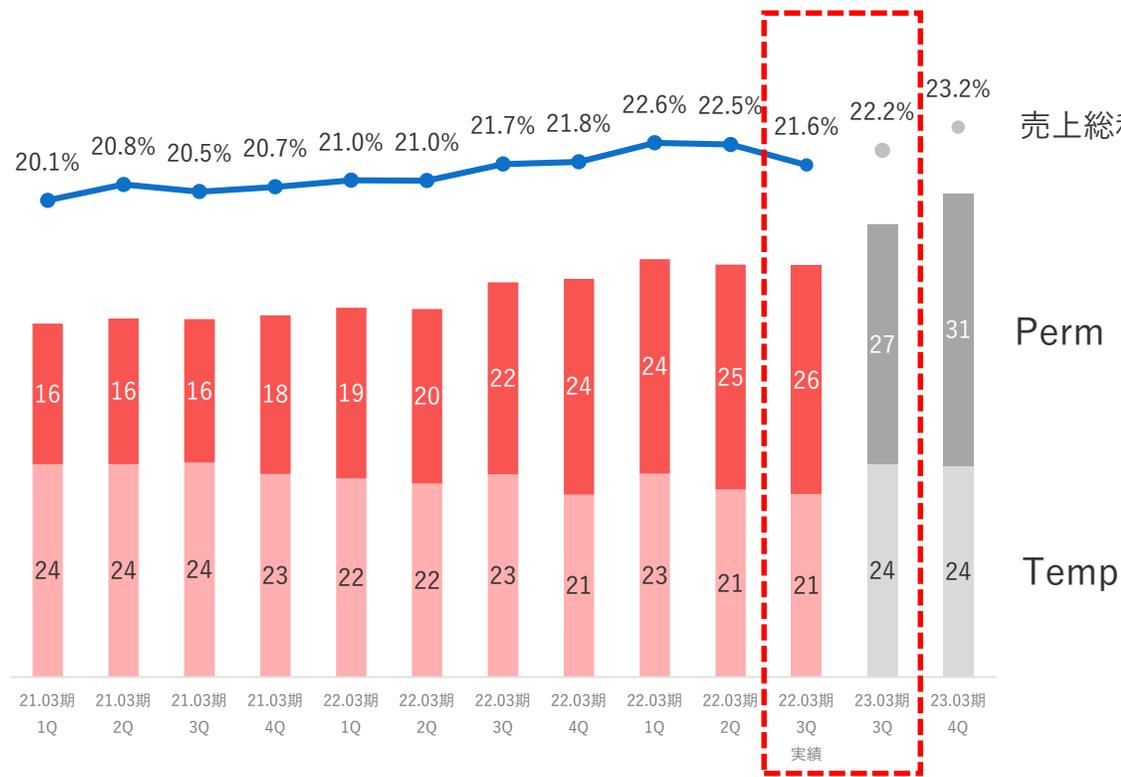
-営業利益（億円）-



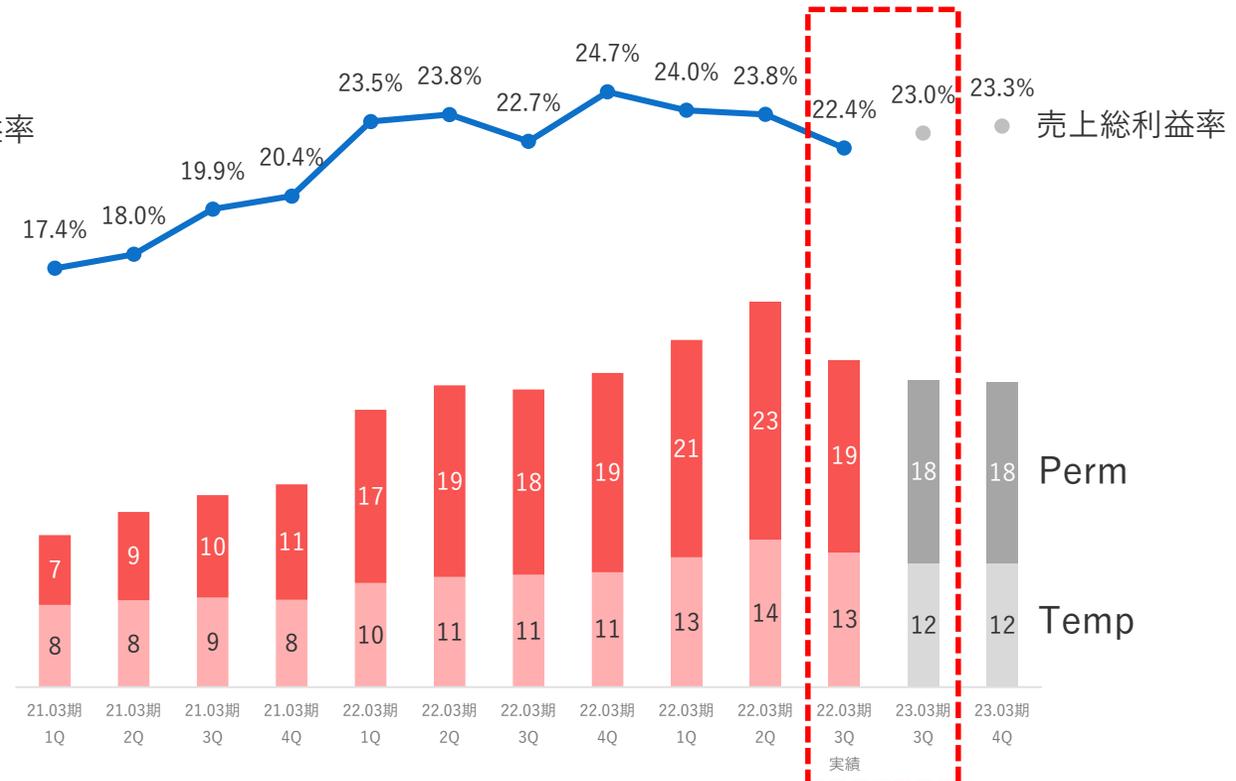
(国内・海外) ポートフォリオシフト進捗

国内WORK事業は、Temp領域の売上総利益率が低下。
海外WORK事業は、Perm領域の減少により、売上総利益率は低下。

-国内WORK事業 Temp/Perm別売上総利益※ (億円) -



-海外WORK事業 Temp/Perm別売上総利益 (億円) -



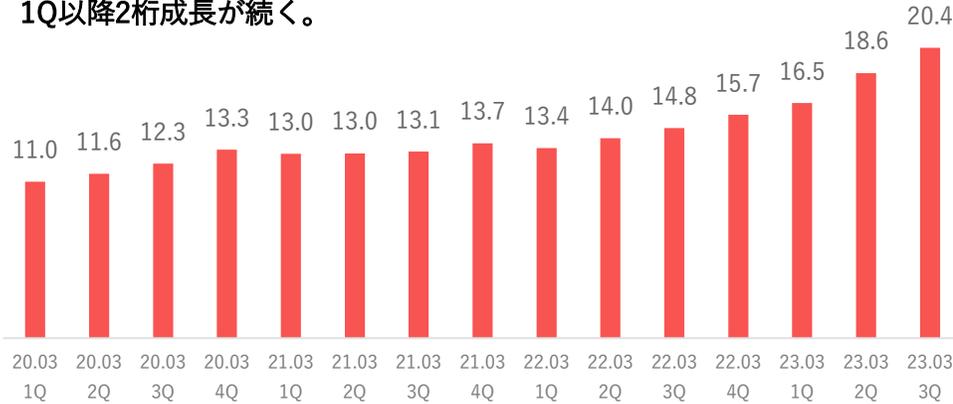
※セグメント内の連結調整は含んでいません。
売上総利益、売上総利益率は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

建設技術者領域の進捗

■四半期別売上高の推移

単位：億円

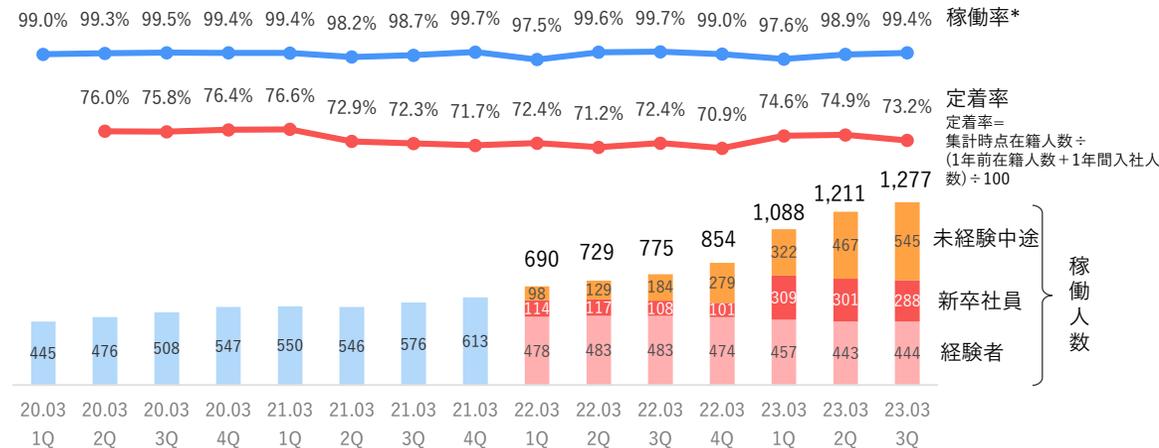
新卒・未経験中途の稼働人数増加により、1Q以降2桁成長が続く。



■稼働人数、稼働率、定着率

単位：人

稼働率は高水準で推移。引き続き定着率の向上に取り組む。

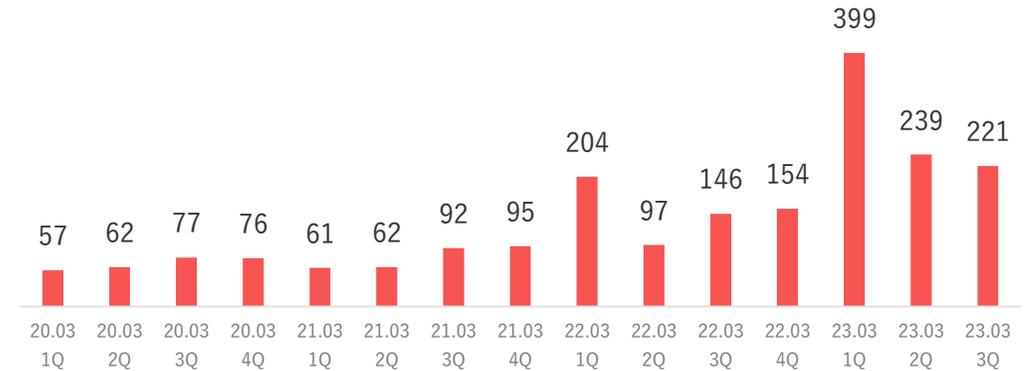


*22.03 1Q、23.03 1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した6月単月の稼働率です。
累計期間の稼働率は、22.03 1Q：90.4%、23.03 1Q：89.6%になります。

■採用人数

単位：人

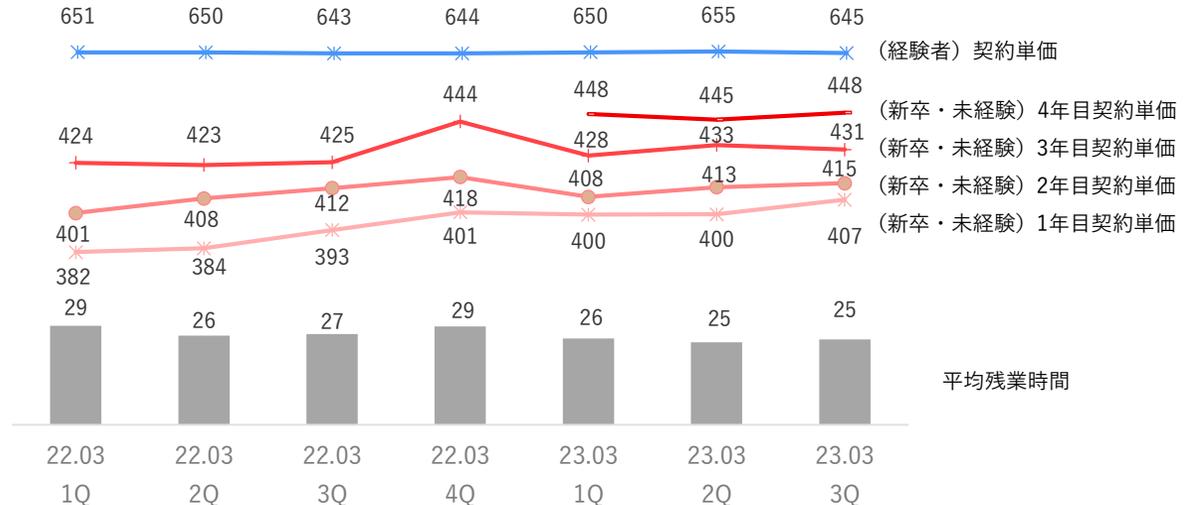
中途未経験者採用は、1,000名/年を上回るペースで進捗。
*1Qは、新卒採用（前期：131名、今期：236名）を含む。



■平均契約単価、平均残業時間（月間）

単位：時間、千円

新卒・未経験の平均契約単価は、顧客とのチャージアップ交渉等により3%-5%/年上昇。
残業時間は横ばい傾向。

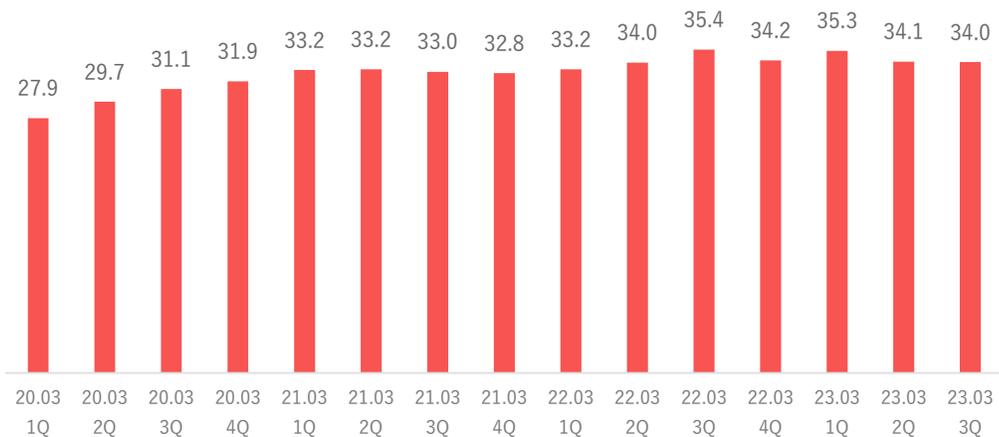


介護領域の進捗

■ 四半期別売上高の推移

単位：億円

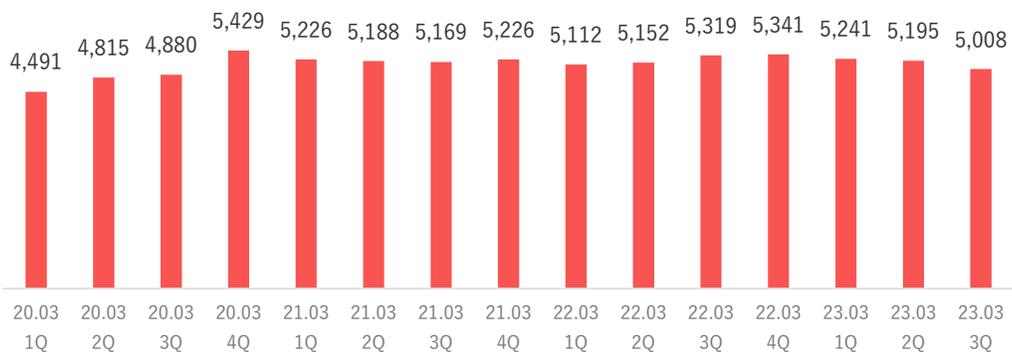
人材派遣、人材紹介とも堅調に推移。



■ 派遣稼働人員数

単位：人

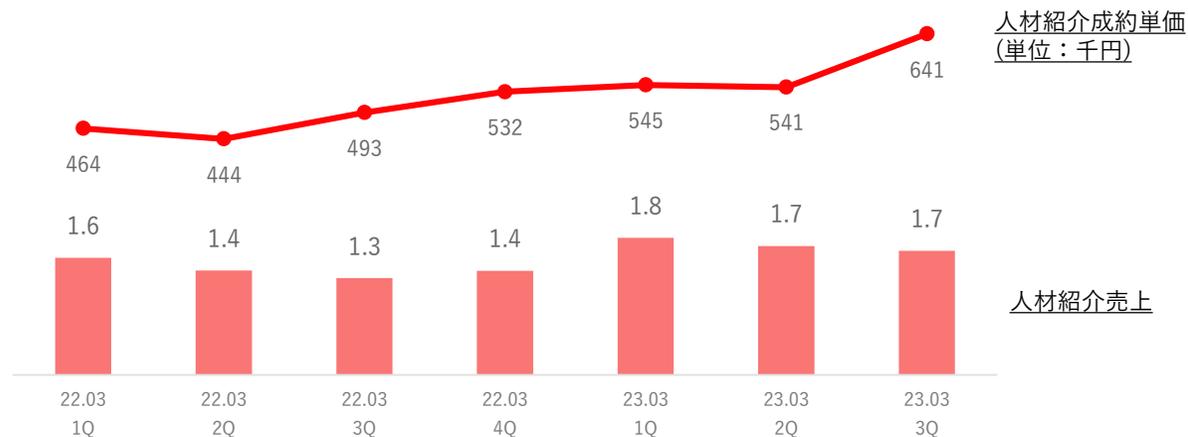
感染症拡大による新規案件減少の影響が続き、前四半期比で減少。



■ 人材紹介売上と人材紹介成約単価

単位：億円

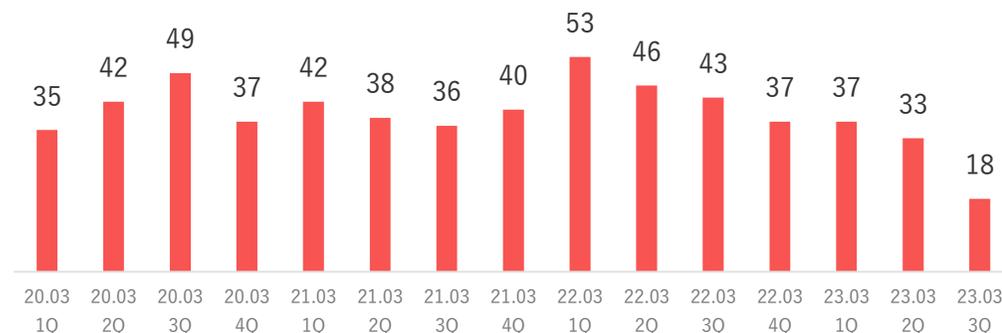
人材紹介成約単価は、経験者にターゲットを絞ったことで上昇。



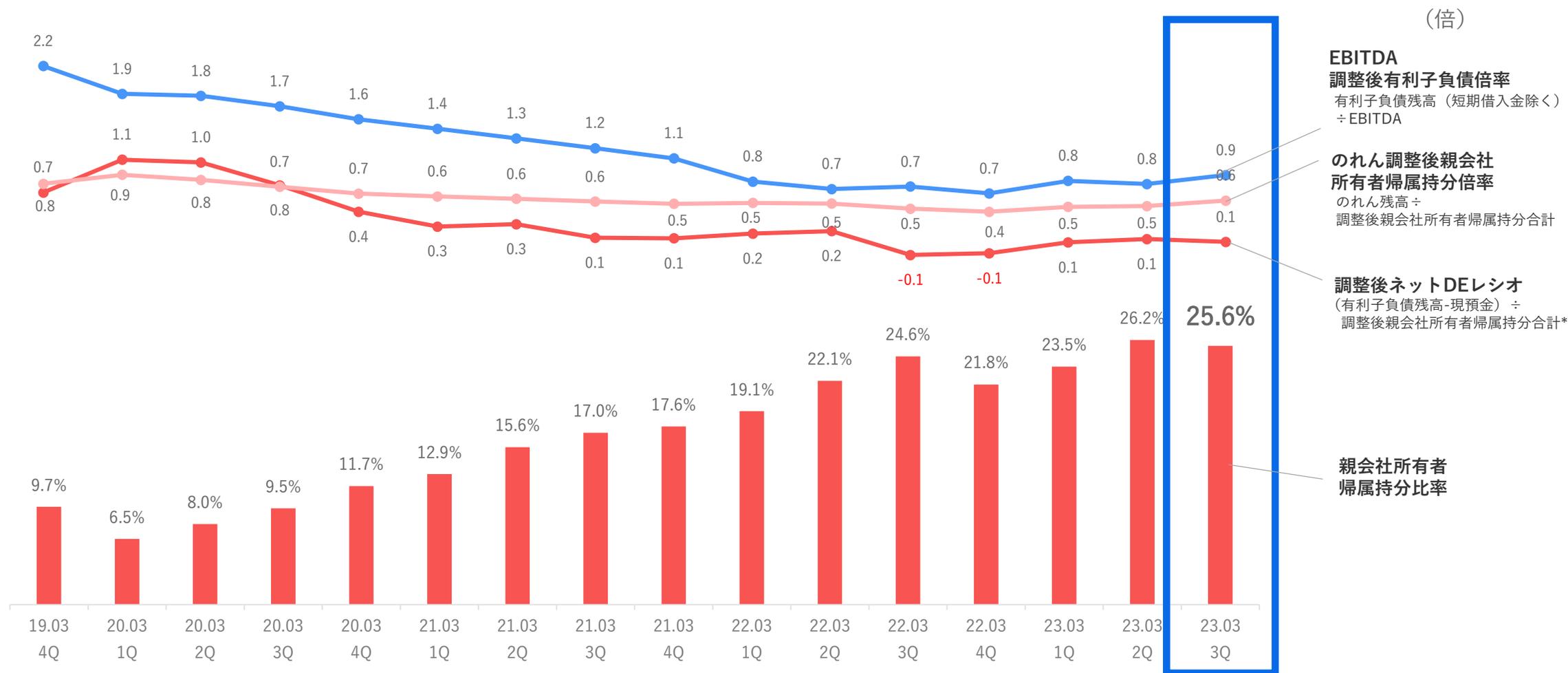
■ 人材紹介部門社員数

単位：人

生産性を維持しながら、今後は増員予定。



親会社所有者帰属持分比率は、3Qで25.6%。中期経営計画目標：20%を上回って進捗。



III.2023年3月期 通期業績予想、配当予想

2023年3月期 通期連結業績予想の修正

足元の業績動向を踏まえ、2023年3月期通期業績予想を修正しました。
修正予想の4Qは、以下の前提にしています。

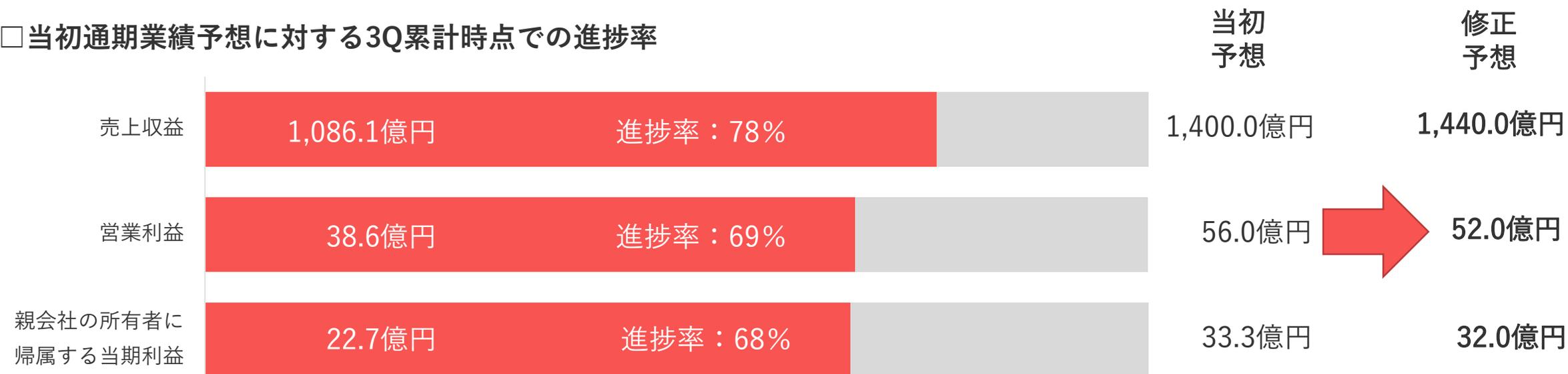
■売上収益

- ・国内WORK事業は、2022年10月以降新規案件獲得は徐々に進んでいるものの、想定より遅れ。
- ・海外WORK事業は、ポストコロナの急激な人材紹介需要は一巡するものの、人材派遣需要は堅調。

■営業利益

- ・国内WORK事業は、新規案件開拓の遅れによる売上収益の減少。
- ・海外WORK事業は、3Q水準で推移する見通し。

□当初通期業績予想に対する3Q累計時点での進捗率



2023年3月期 通期連結業績予想の修正

(億円)	前期実績	当初予想	2Q決算発表時点 見通し	修正予想	2Q決算発表時点見通し比	
					増減	増減率
売上収益	1,310.8	1,400.0	1,400.0	1,440.0	+40.0	+2.9%
うち国内WORK事業	807.2	889.8	848.5	838.7	△9.8	△1.2%
うち海外WORK事業	487.4	490.3	527.8	577.7	+49.9	+9.5%
うちその他	16.0	19.8	23.5	23.6	+0.1	+0.4%
売上総利益率	21.9%	22.6%	22.7%	22.2%	△0.5pt	-
営業利益	54.7	56.0	56.0	52.0	△4.0	△7.1%
(営業利益率)	4.2%	4.0%	4.0%	3.6%	△0.4pt	-
うち国内WORK事業	44.4	56.9	44.4	40.3	△4.0	△9.2%
うち海外WORK事業	33.4	25.8	36.3	32.1	△4.1	△11.4%
うちその他	△3.4	△1.9	△1.9	0.5	+2.3	-
うち調整額	△19.8	△24.8	△22.7	△20.9	+1.7	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	32.8	33.3	33.3	32.0	△1.3	△3.9%
EBITDA	75.5	76.7	76.7	72.4	△4.3	△5.6%
為替レート	前期実績	当初予想	2Q決算発表時点に おける見通し	今回修正予想	1円変動による影響額/年	
					売上収益	利益
オーストラリアドル	83円	78円	93円	93円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	83円	79円	96円	98円	1.1億円	0.1億円

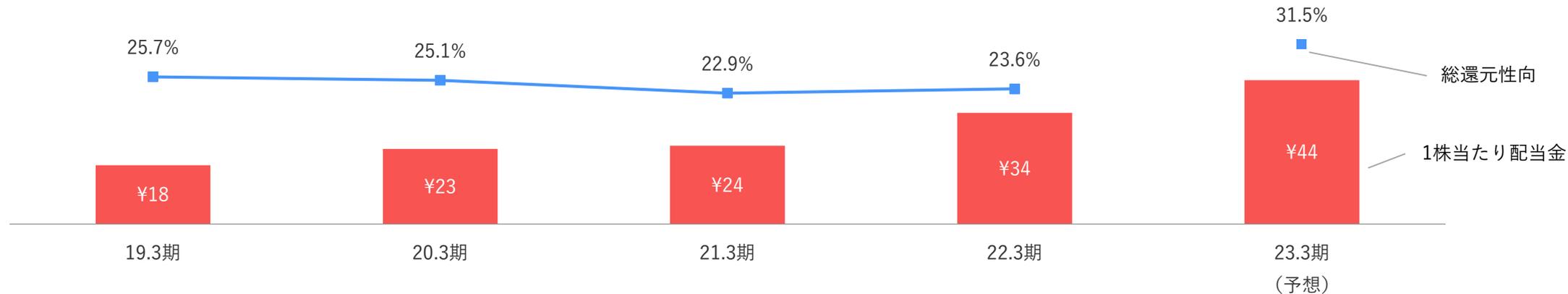
中期経営計画経営目標と2023年3月期業績予想の比較

	KPI	2020.3月期	2021.3月期	2022.3月期	2023.3月期	
					(中期経営計画)	(業績予想)
収益性指標	売上収益 (前期比)	1,219億円 (+18%)	1,182億円 (△3%)	1,310億円 (+11%)	1,335億円 (+2%)	1,440億円 (+10%)
	売上総利益率	20.8%	20.3%	21.9%	22.6%	22.2%
	販管費 (うち先行投資費用)	214億円	204億円	235億円 (10億円)	248億円 (13億円)	267億円 (10億円)
	営業利益 (営業利益率)	41.4億円 (3.4%)	40.3億円 (3.4%)	54.7億円 (4.2%)	53.5億円 (4.0%)	52.0億円 (3.6%)
財務指標	ROIC	14%	14%	17.9%	20%	16%
	親会社所有者帰属持分比率	11.7%	17.7%	21.8%	22%	28%
	総還元性向	25.1%	22.9%	23.6%	30.0%	31.5%

株主還元方針は、期首業績予想に対する総還元性向:30%としているため、配当予想は修正なし。

	2022.3月期	2023.3月期 配当予想
期末配当	34円/株	44円/株
総還元性向	23.6%	31.5%

■1株当たり配当金、総還元性向の推移



IV.2024年3月期からの新経営体制

代表取締役の異動

2023年6月開催の定時株主総会后、代表取締役変更予定。
2023年5月公表予定の新中期経営計画から、新経営体制に移行。

新任代表取締役の経歴等

氏名 (生年月日)	主な略歴		所有株式数 (2022年3月31日現在)
すみ ゆういち 角 裕一 1980年10月6日生(満42歳) 	2003年4月	株式会社セントメディア（現 株式会社ウィルオブ・ワーク）入社	27,900株
	2006年4月	株式会社ウィルホールディングス（現 当社）入社	
	2009年4月	株式会社セントメディアフィールドエージェント（現 株式会社ウィルオブ・ワーク）入社	
	2014年4月	同社 営業本部長	
	2016年4月	同社 取締役就任	
	2018年7月	当社 執行役員 人事本部長	
	2019年6月	株式会社セントメディア（現 株式会社ウィルオブ・ワーク）取締役就任	
	2021年4月	株式会社ウィルオブ・コンストラクション 代表取締役就任（現任）	
	2022年6月	当社 取締役就任（現任）	

[2023年2月21日公表「当社代表取締役及び役員の変動並びに当社子会社代表取締役の変動に関するお知らせ」](#)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ 財務部IRグループ

TEL : 03-6859-8880

Mail : ir@willgroup.co.jp

■ 「IRメール配信サービス」のご案内

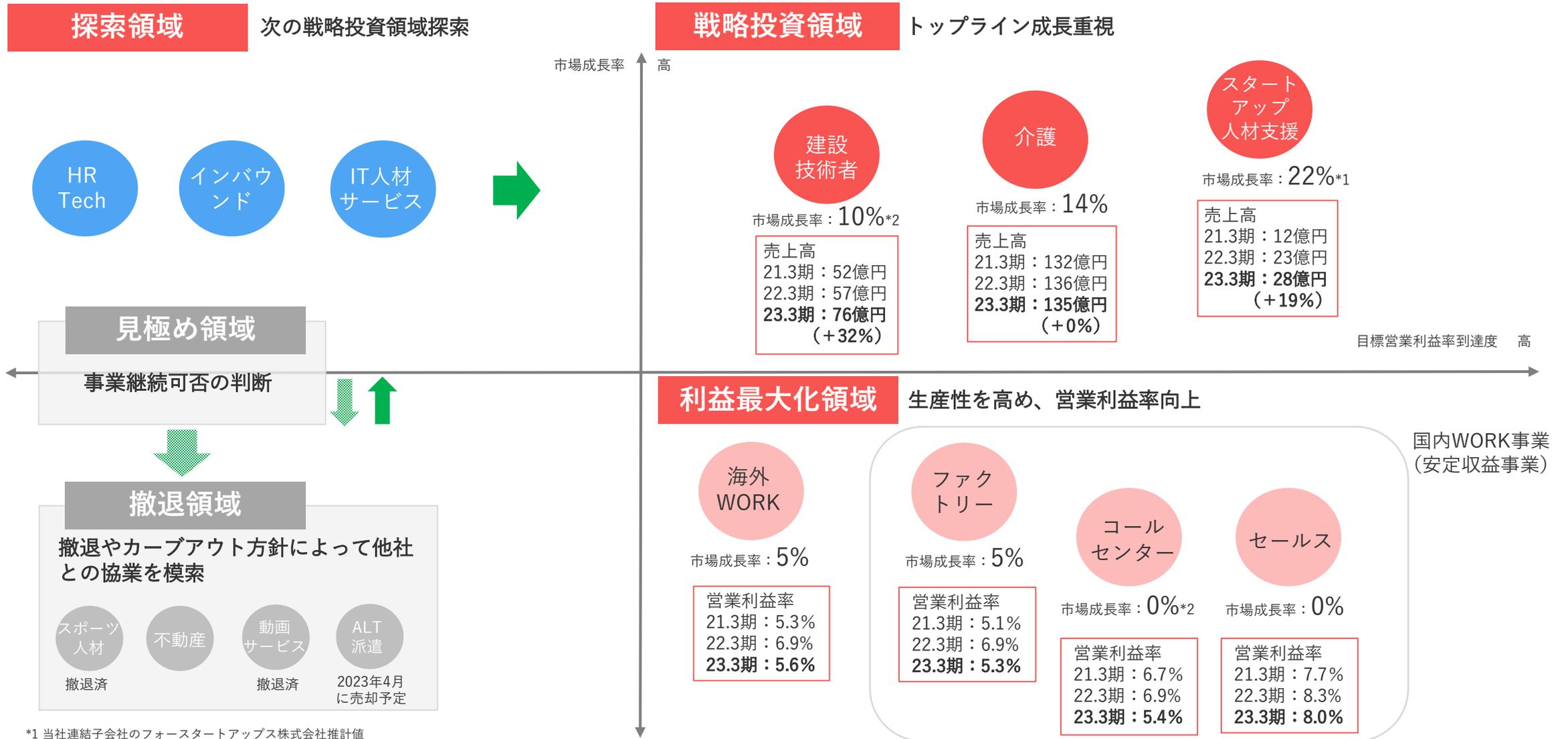
当社では、IRに関するメール配信を行っています。適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶



Appendix

事業ポートフォリオマネジメント



*1 当社連結子会社のフォースタートアップス株式会社推計値

*2 当社調べ

※出所「人材ビジネスの現状と展望 2021年版」(株)矢野経済研究所

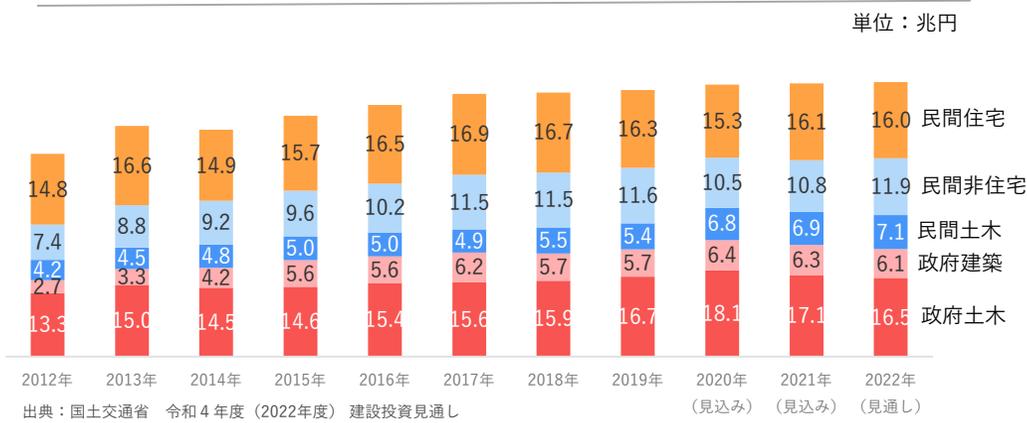
「Economic Report」 World Employment Confederation (出所元データがユーロ表記のため、1€130円で換算)

建設領域の外部環境

国内の需要は堅調。2024年4月から「働き方改革関連法」が建設業界にも適用予定。残業時間規制によって、人材需要の高まりが期待される。また、人材の高齢化も深刻。

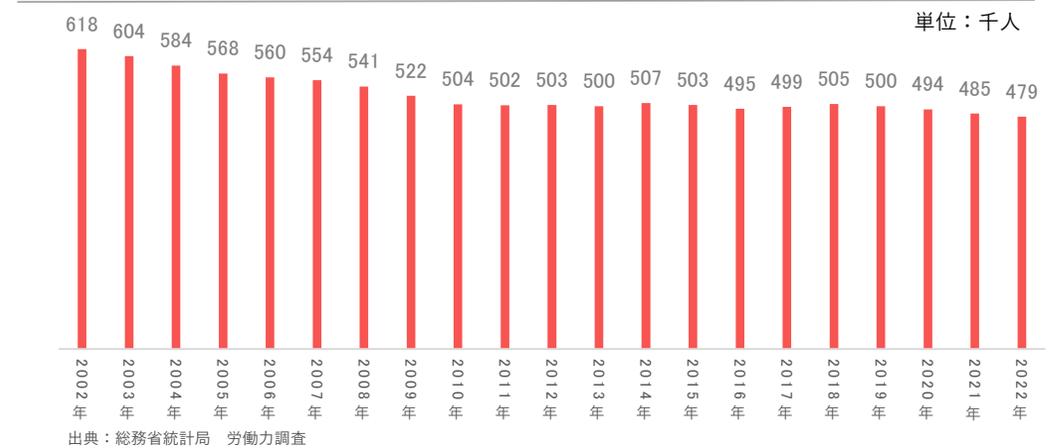
名目建設投資額

単位：兆円

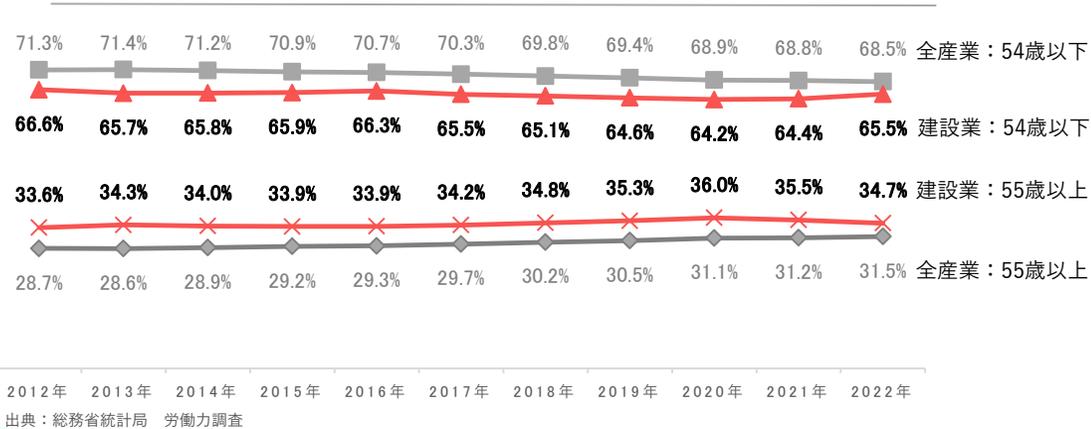


建設業 就業者数の推移

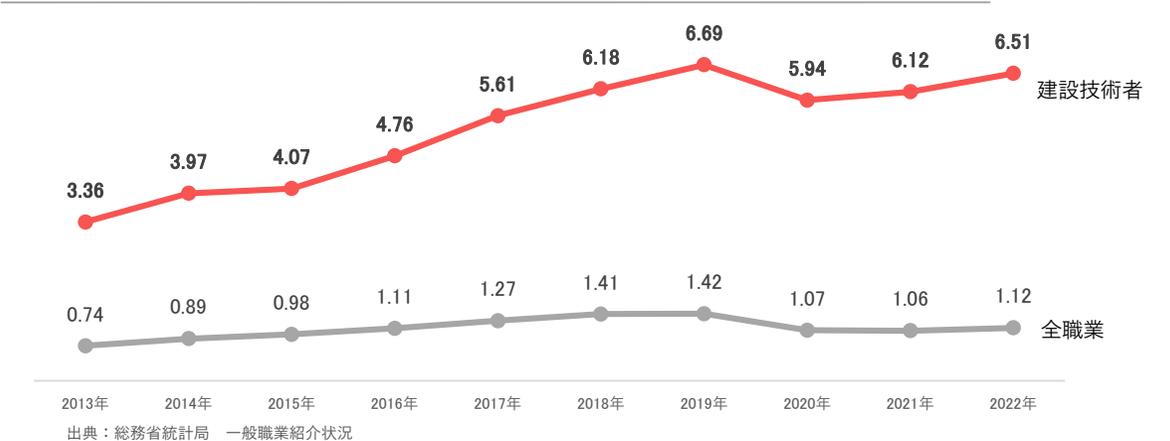
単位：千人



建設業 年齢別就業者数の推移



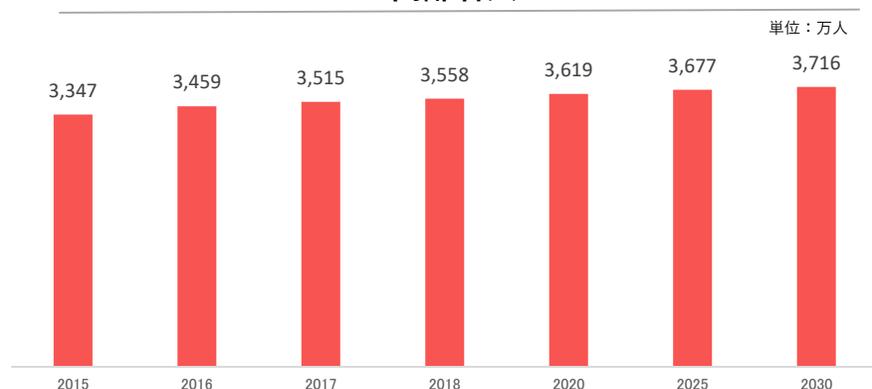
建設業 有効求人倍率の推移



戦略投資領域の外部環境（介護領域）

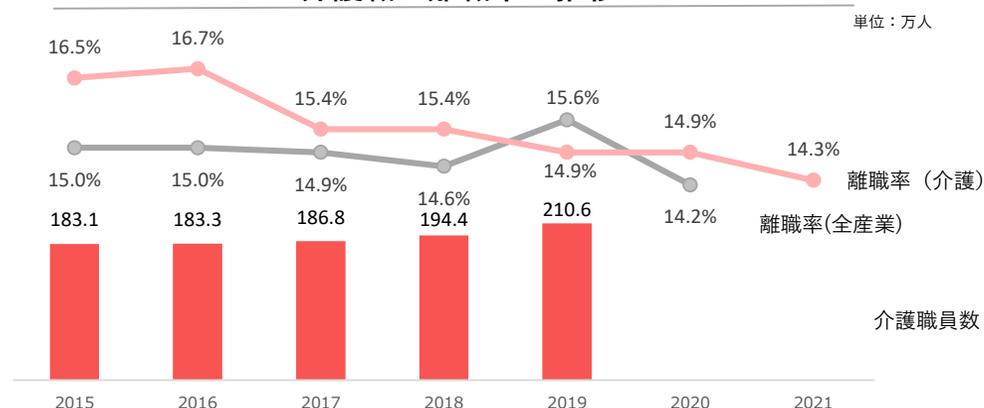
介護人材は慢性的な人手不足で需要は引き続き増加傾向。外国人材などの登用含め市場は、引き続き拡大傾向。

高齢者人口



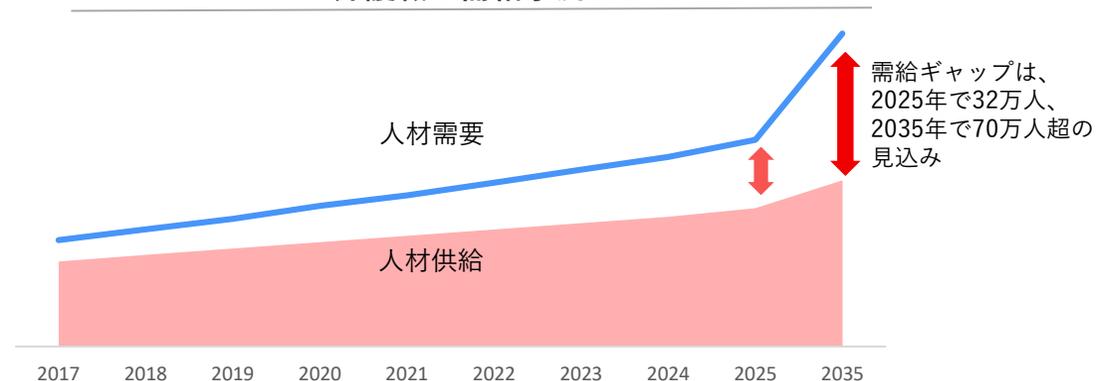
出典：厚生労働省 2019年7月介護人材の確保・介護現場の革新（参考資料）
総務省統計局 人口推計

介護職と離職率の推移



出典：公益財団法人介護労働安定センター 令和3年度「介護労働実態調査」結果の概要について
厚生労働省「令和3年雇用動向調査結果の概況」、「介護サービス施設・事業者調査」

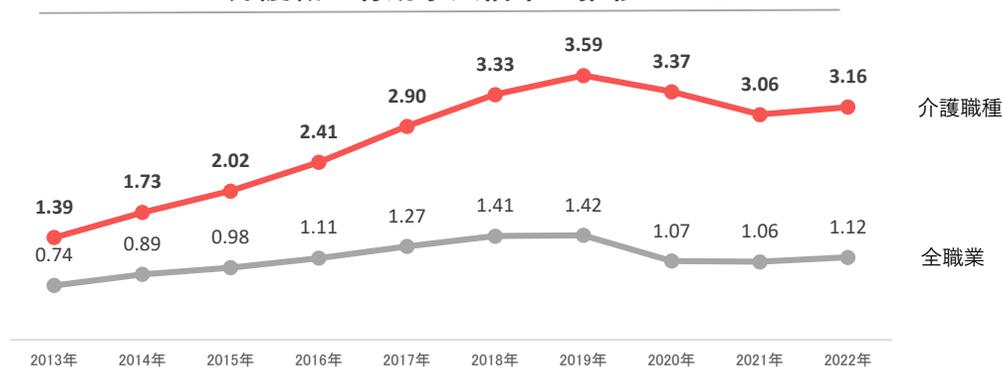
介護職の需給予測



需給ギャップは、
2025年で32万人、
2035年で70万人超の
見込み

出典：経済産業省 2018年4月将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに関する研究会報告書

介護職の有効求人倍率の推移



出典：総務省統計局 一般職業紹介状況

海外（豪州、シンガポール）のマクロ環境



当社のビジネス環境

豪州、シンガポールとも求人件数は、足元減少しており、業種別では、ITや金融等が減少しています。

安定した領域で展開している人材派遣は、堅調に推移している一方で、人材紹介は、ポストコロナの急激な人材需要が3Qで一巡しました。景気後退が懸念される中で、足元では顧客の需要減少は見受けられませんが、先行きには、注視が必要です。



関連経済指標

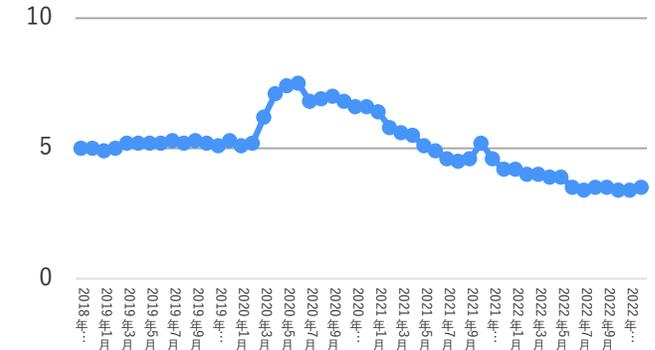
■ 求人件数

*出典：豪州統計局



■ 完全失業率

*出典：豪州統計局



■ 求人件数

*出典：シンガポール人材開発省



■ 完全失業率

*出典：シンガポール統計局

